

【添付資料⑪】2023施工方法 & メンテナンス方法



新技術では雨水桧、U字溝内の堆積物処理工程が初回の1回【新設では不要】と成る: 処理コストの削減

④竣工: U字溝SS型 ← ③敷設工 → ②準備工 ①別途工



④竣工: 雨水桧充填型 ← ③敷設工 → ②準備工 ①別途工



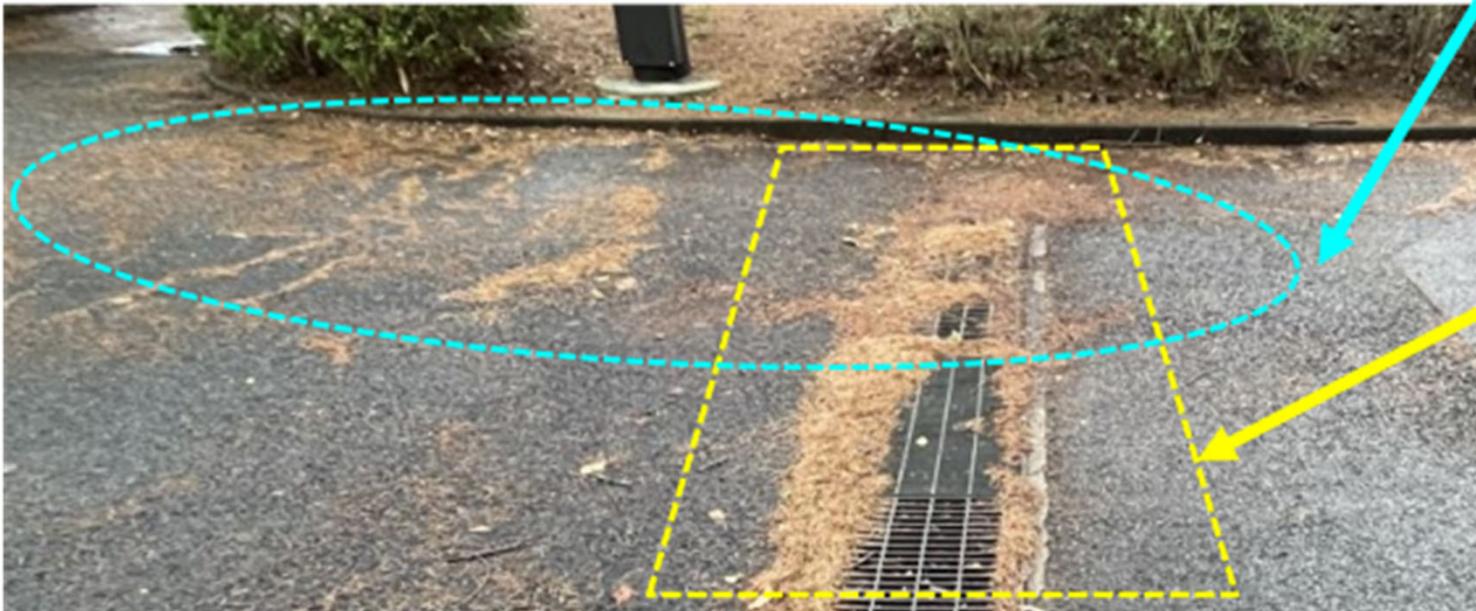
平時、降水20mm後のメンテナンスイメージ

平時は周辺ゴミ清掃のにグレーチング上のゴミを同時に処理



平時の周辺ゴミ清掃

降水20mmを超える場合にはグレーチング上に周辺ゴミが集中する為
次の降水に備え専門処理人員で堆積物を処理するを



降水20mmを超えた際の
グレーチング上の強制
堆積物処理

グレーチング上の堆積物の集類から発生源を特定し問題点を解決する



樹木の成長に合わせて根の張りも必要、土内に余裕がなければ土を割り表に出てくる。割れた土が雨で流され排水路に堆積する

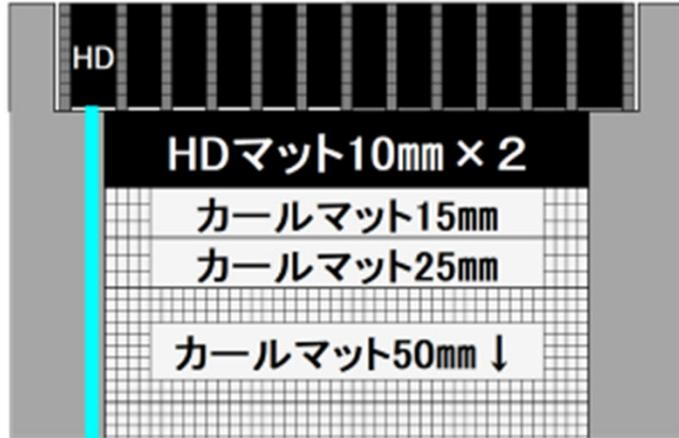


雨水の流れる道が出来ている

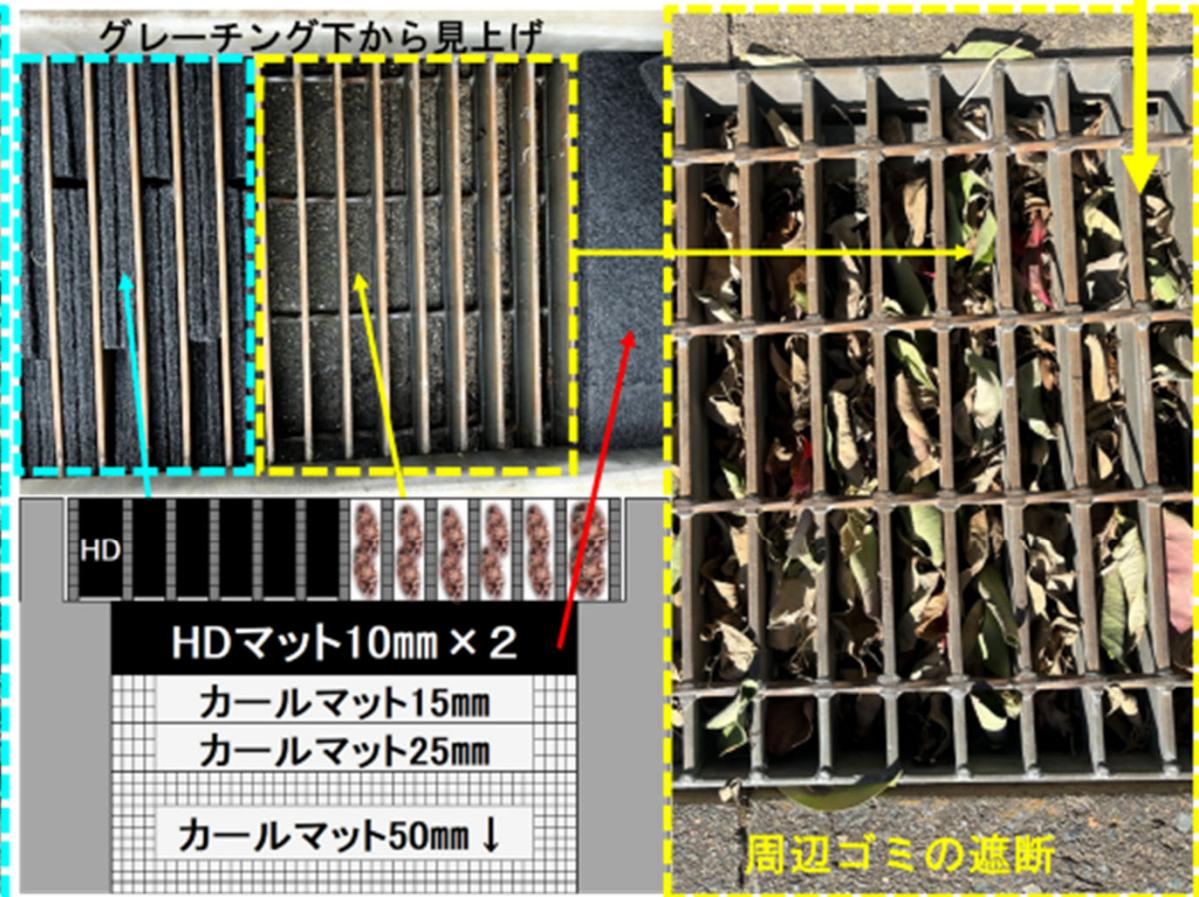
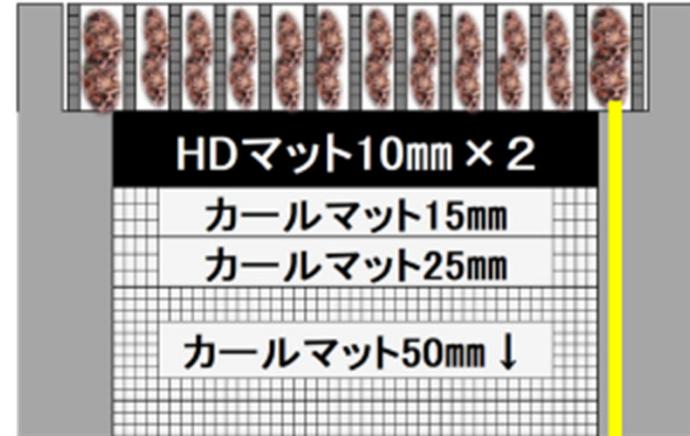
土砂の流入やゴミの堆積には周辺環境に必ず問題がある

グレーチング天端とHDマット天端内の堆積を防ぎ、堆積種類が確定しし易くしたい

HDマット縦使いオプション



標準仕様



グレーチング上のゴミ堆積状況でメンテナンスサイクルを確認すべきポイント

メンテナンス未だ不要



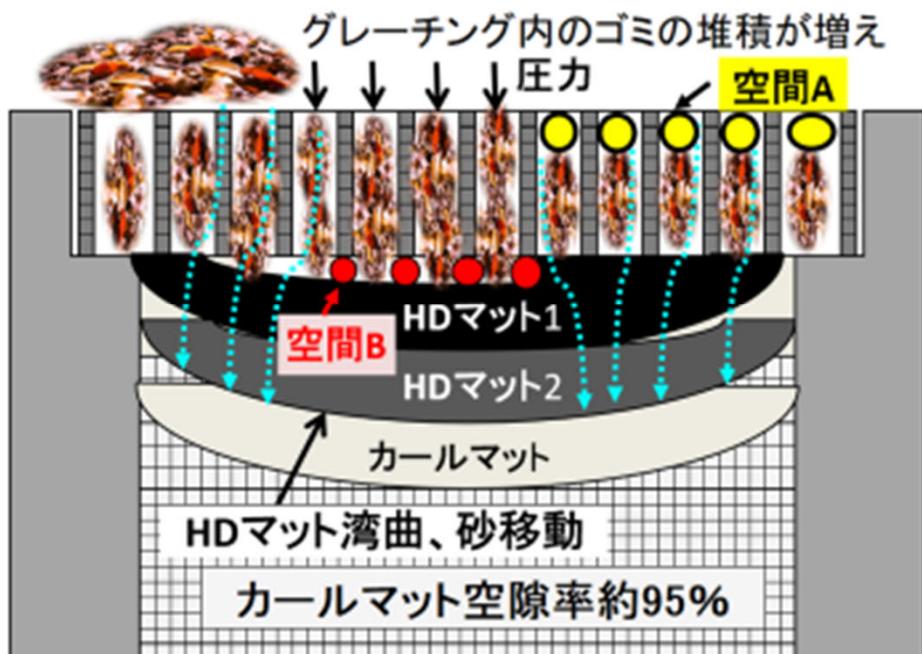
ブローメンテナンス必要



腐葉土化対応が遅い



堆積状況で変わるマット形状イメージ



HDマット縦使いオプション
グレーチング天端とHDマット天端内の
堆積を防ぐ、堆積種類が確定し易い

